

いさかビジョン2007

1 市民の力で神戸を変えます

大前提は情報公開による透明な政治
 役所にとって都合の良い情報だけでなく、都合の悪い情報も、**役所の株主である市民の皆さんに全てをさらけ出して**初めて、「一緒に神戸市を建て直していきましょう」とお願いが出来ます。

市民の声が直接政治を動かす仕組み
 神戸空港のような大きな問題が起こるときに備えて、**常設型の住民投票制度**をあらかじめ創っておいたり、**パブリックコメント制度**をさらに活用します。

税金の使い道を市民が直接決められる仕組み
 住民の直接投票により、自分が納めた**市民税の1%**を、自分の応援するNPO・市民活動団体に補助金として回したり、自分の支持する政策や充実させたい分野の予算を増やしたり出来ます。

市民パートナー制度
 公務員でなければ絶対に出来ない仕事と、それ以外の仕事を分けて、**市民が時給800円程度の有償ボランティア**として役所の中の仕事を積極的に請け負っていく新しい市政運営の方法です。

市民と連携した議会活動
議会基本条例を制定して、議案をあらかじめパブリックコメントにかけたり、調査活動や政策立案を市民団体に委託するなどして市民と連携。議論の経過も**インターネット中継**や議会報告会などで市民に広報します。

地域のお祭り支援
 老若男女がひとつのことに取り組む地域のお祭りやイベントでは、お互いが顔見知りになりコミュニティの絆が深まります。補助金や規制緩和などで地域のお祭りやイベント開催を支援します。

2 子どもにもツケを残しません

環境会計
CO₂削減効果などをお金の単位に直して予算書に表示することで、費用と環境負荷の両面から政策を選ぶことができるようになります。将来、CO₂排出権をお金でやりとりする時代が来れば、環境を守ることは税金が増えることと全く同じ意味を持つようになるのです。

ESCO (エスコ) 事業
初期投資ゼロ円、毎年の浮いた水道光熱費で省エネ工事費用を後払いするESCO事業を役所の中だけでなく一般企業にも広めます。また、中小企業や家庭でもESCO事業に取り組めるよう工夫します。

ゴミの従量料金制
 燃えるゴミ・燃えないゴミを高い袋、資源ゴミを安い袋と指定することにより、袋を使う枚数を減らすために、ゴミを分別して資源回収に出す人が増えます。**ゴミが減れば焼却場や収集車も減らすことができ、税金を大幅に節約**できます。

職員定数と市債の削減
 10~20年の長期財政見通しで将来の税収減少や福祉費用増大を予測し、それに合わせて早めに職員定数や役所の借金残高を減らしてゆきます。

複数年年度予算
 予算を1年ごとに組むのではなく、2~3年ごとに組むことで、役所の部署で**余った予算は翌年の仕事に回せる**ようになり、年度末に税金を使い切るような無駄遣いは自然になくなってゆきます。

多様な保育サービス
病児保育や家庭で子育てをしている方のための一時保育など、公立保育所・民間保育所・無認可保育所も含めて多様な保育サービスで子育てを幅広く支援します。幼児保育に比べて遅れている**学童保育**もあわせて充実します。

3 不正や特権を許しません

公共事業の入札改革
 落札価格が高止まりすることが多い指名競争入札をやめ、すべて一般競争入札に切り替えることで談合を未然に防げば、**工事価格は現状より2割安くなり、多額の税金を節約**できます。

天下り防止
 「天下りは職業選択の自由だ」というのが神戸市の考え方ようですが、それなら天下りを受け入れた企業は、その役所幹部OBが在籍していた部署の仕事や役所から受注することを禁止して、**天下りを実質的に無意味**にします。

公務員制度改革
神戸市職員の手当てなど厚遇をさらに厳しく見直し、やる気・能力と実績に応じた新しい給与・昇進システムに変更します。

外郭団体(役所の子会社)の徹底削減
 外郭団体が役所の仕事を受注するときは、必ず民間企業との競争をして、時代とともに不要になった**外郭団体はすべて計画的に廃止**します。

役所との連絡調整を行うコールセンター
 電話で市民の質問に答え、道路補修や街灯設置などの簡単な依頼であれば役所との連絡調整・進行管理まで一括して代行するコールセンターをつくり、**議員の役所への口利きを不要のもの**にします。

議会改革
 最も改革の遅れている議会でも、まずは**政務調査費の使途を全面公開**し、全政党の議員が受け取っている**1日8,000円~14,000円の出席手当て**(私は受け取り拒否を続けています)を廃止します。

口利き防止条例や政治倫理条例
 抜け穴の多い骨抜き制度は、さらに厳しい制度に作り直す必要があります。

4 問題の予防に力を注ぎます

耐震補強と家具転倒予防
 震災で亡くなった方の8割が建物の倒壊による圧死だったという事実を踏まえ、**耐震診断と補強工事に対する補助金**を充実させるとともに、建物内の家具固定も進めることで地震による圧死は予防できます。

うつ病・自殺予防
 市内で毎年300人、実際はその5倍・10倍とも言われる自殺者を減らすため、医療機関や福祉施設において簡単な**うつ病チェック**を実施し、要注意患者は専門家が診察するなど、自殺防止というテーマで連携を強めます。

健康づくり
 医療機関に一年間かからなかった方に対して健康サービスの利用券を渡したり、学校における**食育や大人向けの栄養指導**を充実させるなど、具体的な効果を測定しながら健康づくり政策をひとつずつ実施します。禁煙教育と卒煙支援を強化し、医療費の増大を防ぎます。

転倒骨折の予防
 道路や家庭内に段差を無くすなどバリアフリーを進めて、骨折を防ぐための補助器具の普及と併せて寝たきりになるお年寄りを減らします。

5 神戸に創造的人材を集めます

クリエイティブ・シティー
 東京のような世界の中枢を担う巨大都市を目指すのではなく、**デザイナーや職人、起業家、研究者、芸術家などの創造的な人材**を集めるクリエイティブ・シティー(創造都市)、アジアの創造首都を目指します。

創造的人材の誘致
 創造的人材が都市に何を望むのかを調査し、ポイントを絞って誘致策を実施します。**歴史ある街並みの保存や自然環境・景観を重視**する都市計画に切り替えて、創造的人材のライフスタイルとセンスに合わせて街を見直します。

第4次産業・第5次産業の振興
 21世紀の経済の中心となると言われている**情報産業**(第4次産業)や、**デザインなど感性にもとづく産業**(第5次産業)を産業政策の中心に据え、創造産業をリードする芸術分野のマーケット規模を広げます。

多様な教育機関による人材育成
 多様な教育機関による様々な教育プログラムを柔軟に認め、デザイン、芸術、ビジネスなど特色ある教育機関を自由に選べるようにすれば、その中から次代の神戸を担う創造的な人材が育って来ます。

いさか信彦と各党の賛否○×表	いさか	自民・公明・民主	共産・新社会
役所をスリムにして税金節約	賛成	賛成	反対
海を埋め立てる大型公共事業	反対	賛成	反対
汚職事件のさらなる真相解明	賛成	反対	賛成
市会議員の人数を削減	賛成	賛成	反対
1日約1万円の議会出席手当て	拒否	受け取り	受け取り

